

# 市民文化政策という意識を共有したい

それは“今”が“未来”につながるのではないだろうか？

森の劇場プロジェクトは、  
ひらいて生きたいという自分を確認する場所、自分の暮らす環境を認識する場所として『よいねポケット』という市民文化政策活動探検探求の場を毎月第2土曜日に開催します。

## = 5月特別回のご案内 =

### まつり まつりごと 祭 と 政 ~ 喜々と危機 ~

**日時** 令和7年 5月10日(土) 14:00~17:00頃

**場所** 津市白山町 大三公民館 多目的ホール (定員:50:要申込)

**参加費** 4000円

- \* 市民文化政策活動協賛金 2,000円/年の協力者は、全プログラム半額
- \* 財政難の方、どうぞお申し出ください。 お金がなくとも参加できます。
- \* 事前申し込みをお願いします : お申込みは裏面に

◆ 14:00~ 大正琴演奏グループ **美・サイレント** コンサート



ピアノやエレクトーン講師だった私たちが、  
大正琴の奏でる音に面白味が尽きないのはなぜなのだろう？  
長く続けてきた時間をゆっくりたどってみると、  
多くの人と「より生きること」を重ねてみたいと感じたので  
演奏をさせてもらおうと決めました。聴いてみてください。

(伊藤知子:写真左)

◆ 15:00頃~ 文化政策専門家 **中川幾郎氏** 実体験の講話



2013年、中川氏の『これからの文化政策』という講義を聴きました。  
「文化や芸術が明暗を分けるきな臭い時代になっている、しかし、そのことは  
多くの人々の潜在的な価値観に呼びかけるほど根気のいること。」と話された内容、  
そのきな臭さは年々増えています。今回、中川氏を交えて、きな臭さを言葉にし  
その先により生きたいという自分に出会えるのか？冒険してみたいと思うのです。

NPO 法人森の劇場プロジェクト:長野多恵

◆ 講話の途中から **茶話会** 17:00頃 終了 **美味しいなにか!(^~)!ご用意します** ♥

主催 : NPO 法人森の劇場プロジェクト 後援 : 津市